



市・有形民俗文化財

生活用具

魚津市小川寺（魚津市）

戦後の大きな生活様式の変化とともに、生活用具も急激に変化を遂げている。特に素材の変化は著しく、かつては木・竹などの自然材料を用いていたものが、近年ではアルミニウム、ステンレスや塩化ビニルなど、種類の金属や合成樹脂などに転換している。

指定されている生活用具は、明治時代から昭和20年代頃までの、庶民が日常のなかで使用してきたもので、貯蔵用具・炊事用具・食器・家具などがあり、単に民俗学的資料としてだけではなく、伝統的工芸品としても優れたものも少なくない。現在、魚津歴史民俗博物館で以下のものを保管、展示している。

貯蔵用具—桶・樽・米櫃・甕など

炊事用具—鍋・釜・笊・籠など

化粧用具—鏡・櫛など

食器—碗・皿・膳・重箱・弁当入れなど

家具—行李・長持など